

Tcl インタフェース 取扱説明書

第8版

- ・本書は、MD1230A-06, MD1230B-06, MD1231A-06, MD1231A1-06, MX123001A-06 についての取扱説明書です。
- ・製品をご使用前に必ず本取扱説明書をお読みください。
- ・安全にお使いいただくための重要事項は、各種本体の取扱説明書に記載してありますのでそちらをお読みください。
- ・本書は製品とともに保管してください。

アンリツ株式会社

安全情報の表示について

当社では人身事故や財産の損害を避けるために、危険の程度に応じて下記のようなシグナルワードを用いて安全に関する情報を提供しています。記述内容を十分理解して機器を操作するようにしてください。

下記の表示およびシンボルは、そのすべてが本器に使用されているとは限りません。また、外観図などが本書に含まれるとき、製品に張り付けたラベルなどがその図に記入されていない場合があります。

説明書中の表示について



危険

回避しなければ、死亡または重傷に至る切迫した危険状況があることを警告しています。



警告

回避しなければ、死亡または重傷に至る可能性がある潜在的危険について警告しています。



注意

回避しなければ、軽度または中程度の人体の傷害に至る可能性がある潜在的危険、または、物的損害の発生のみが予測されるような危険状況について警告しています。

機器に表示または説明書に使用されるシンボルについて

機器の内部や操作箇所の近くに、または説明書に、安全上あるいは操作上の注意を喚起するための表示があります。これらの表示に使用しているシンボルの意味についても十分理解して、注意に従ってください。



禁止行為を示します。丸の中や近くに禁止内容が描かれています。



守るべき義務的行為を示します。丸の中や近くに守るべき内容が描かれています。



警告や注意を喚起することを示します。三角の中や近くにその内容が描かれています。



注意すべきことを示します。四角の中にその内容が書かれています。



このマークを付けた部品がリサイクル可能であることを示しています。

Tcl インタフェース
取扱説明書

2003年（平成15年）2月1日（初 版）
2005年（平成17年）11月25日（第8版）

・予告なしに本書の内容を変更することがあります。
・許可なしに本書の一部または全部を転載・複製することを禁じます。

Copyright © 2003-2005, ANRITSU CORPORATION
Printed in Japan

品質証明

アンリツ株式会社は、本製品が出荷時の検査により公表機能を満足することを証明します。

品質保証

- ・ アンリツは、本ソフトウェアが付属のマニュアルに従った使用方法にもかかわらず、実質的に動作しなかった場合に、無償で補修または交換します。
- ・ その保証期間は、購入から1年間とします。
- ・ 補修または交換後の本ソフトウェアの保証期間は、購入時から一年内の残余の期間、または補修もしくは交換後から30日のいずれか長い方の期間とします。
- ・ 本ソフトウェアの不具合の原因が、天災地変などの不可抗力による場合、お客様の誤使用の場合、またはお客様の不十分な管理による場合は、保証の対象外とさせていただきます。

また、この保証は、原契約者のみ有効で、再販売されたものについては保証しかねます。

アンリツ株式会社は、本製品の欠陥に起因する損害のうち、予見できない特別の事情に基づき生じた損害およびお客様の取引上の損失については、責任を負いかねます。

当社へのお問い合わせ

本製品の故障については、本説明書（紙版説明書では巻末、CD版説明書では別ファイル）に記載の「本製品についてのお問い合わせ窓口」へすみやかにご連絡ください。

国外持出しに関する注意

1. 本製品は日本国内仕様であり、外国の安全規格などに準拠していない場合もありますので、国外へ持ち出して使用された場合、当社は一切の責任を負いかねます。
2. 本製品および添付マニュアル類は、輸出および国外持ち出しの際には、「外国為替及び外国貿易法」により、日本国政府の輸出許可や役務取引許可を必要とする場合があります。また、米国の「輸出管理規則」により、日本からの再輸出には米国政府の再輸出許可を必要とする場合があります。

本製品や添付マニュアル類を輸出または国外持ち出しする場合は、事前に必ず弊社の営業担当までご連絡ください。

輸出規制を受ける製品やマニュアル類を廃棄処分する場合は、軍事用途等に不正使用されないように、破碎または裁断処理していただきますようお願い致します。

ソフトウェア使用許諾書

本契約書とともに提供するソフトウェア・プログラム(以下、「本ソフトウェア」という。)を使用する前に、本契約書をお読みください。

お客様が本契約書の各条件に同意いただいた場合のみ、本ソフトウェアを使用することができます。

お客様が、本ソフトウェアの使用を開始した時点、または本ソフトウェアの梱包を開封した時点で、お客様が本契約書の各条件に同意したものとします。お客様が本契約に同意できない場合は、ご購入時の原状のままでアンリツ株式会社(以下、アンリツという。)へ返却してください。

1. 使用許諾

- (1) お客様は、1 台のコンピュータシステムで本ソフトウェアを使用できます。
- (2) コンピュータシステムでの使用には、本ソフトウェアがコンピュータシステムの記憶装置に記録されていることも含みます。
- (3) お客様が、複数台のコンピュータシステムに本ソフトウェアを使用する場合には、同時に使用されない場合でも、使用するコンピュータシステムの数と同じ数の使用許諾を受けてください。

2. 著作権

- (1) 本ソフトウェアの著作権はアンリツが所有しています。
- (2) お客様が本ソフトウェアを購入されたことは、本契約に規定された以外の権利をお客様に移転することを意味するものではありません。
- (3) お客様は、本ソフトウェアの全部または一部をアンリツの事前の同意を得ることなく印刷、複製、改変、修正、そのほかのプログラムとの結合、逆アセンブルまたは逆コンパイルをすることはできません。

3. 複製

お客様は、上記 2(3)の規定にかかわらず、購入した本ソフトウェアを保存する目的で一部のみ複製することができます。この場合、本ソフトウェアのオリジナルまたは複製のいずれか一方のみを使用することができます。

4. 契約の終了

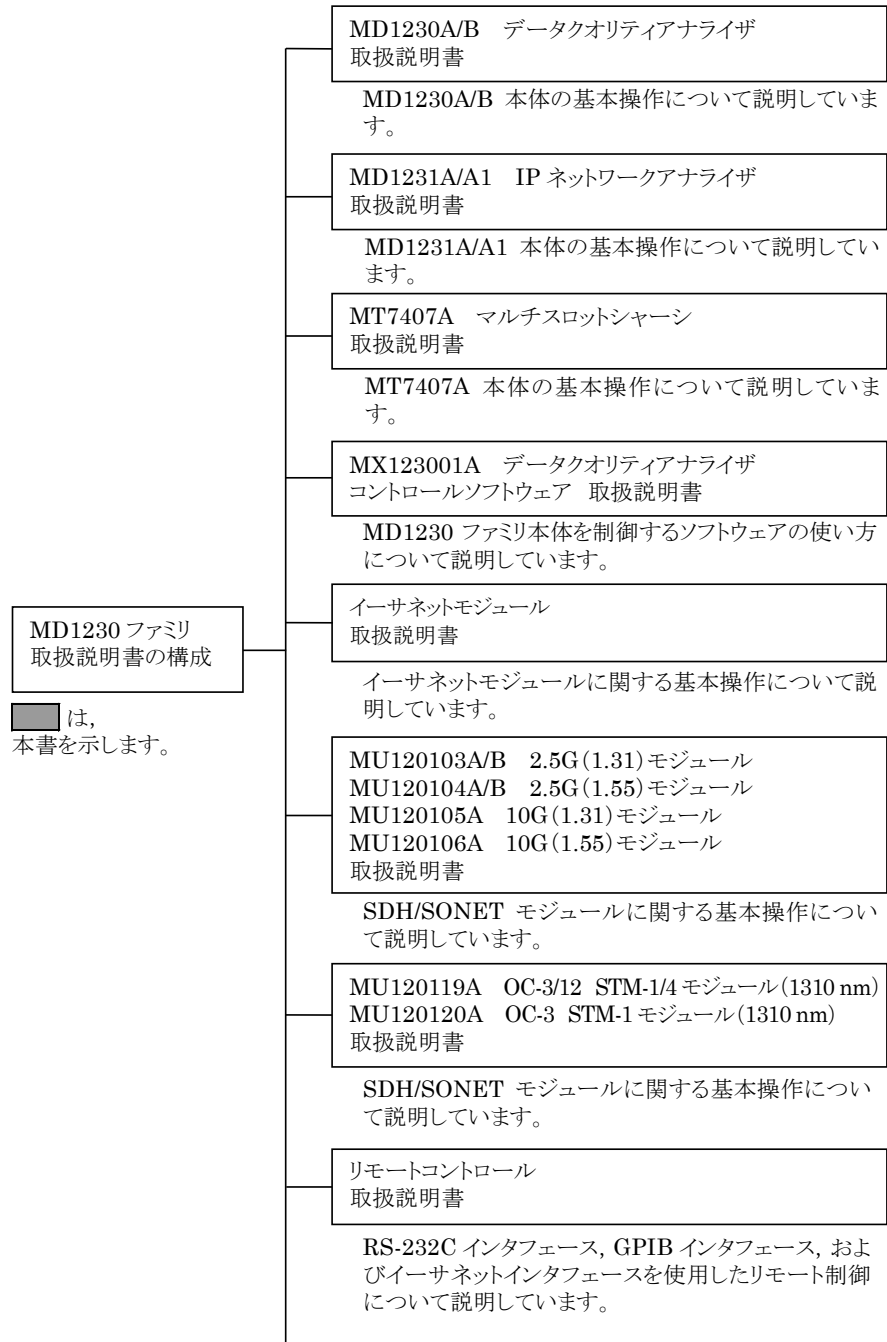
- (1) お客様が、本契約に違反したとき、またはアンリツの著作権を侵害したとき、アンリツは本契約を解除し、以後お客様の本ソフトウェアのご使用を終了させることができます。
- (2) お客様またはアンリツは、事前の一ヵ月前までに相手方へ書面で通知することにより、本契約を終了させることができます。
- (3) 本契約が終了した場合、お客様は、本ソフトウェアおよび付属のマニュアルをすみやかに廃棄またはアンリツへ返却するものとします。

はじめに

MD1230 ファミリの取扱説明書は、以下のように、本体、モジュール、コントロールソフトウェア、リモートコントロール、およびオプションに分かれて構成されています。

注:

MD1230 ファミリは、MD1230A/B データクオリティアナライザ、MD1231A/A1 IP ネットワークアナライザ、および MT7407A マルチスロットシャーシの総称です。



MD1230 ファミリ
取扱説明書の構成

は、
本書を示します。

	<div>デコードモジュール 取扱説明書</div> <div>デコード モジュールに関する基本操作について説明しています。</div>
	<div>Tcl インタフェース 取扱説明書</div> <div>Tcl インタフェースに関する基本操作について説明しています。</div>
	<div>エキスパート解析モジュール 取扱説明書</div> <div>エキスパート解析モジュールに関する基本操作について説明しています。</div>
	<div>アプリケーショントラフィックモニタ 取扱説明書</div> <div>イーサネット上のトラフィックをモニタするソフトウェアの使い方について説明しています。</div>

本取扱説明書は、以下の製品に対応しています。

形名	名称
MD1230A-06 MD1230B-06 MD1231A-06 MD1231A1-06 MX123001A-06	Tel インタフェース

本取扱説明書は、MX123002A, MX123002A を例に説明しております。

目次

はじめに	I
第 1 章 Tcl インタフェースの概要.....	1-1
1.1 Tcl インタフェースの概要	1-2
1.2 概念	1-3
1.3 操作ガイドライン	1-4
付録 A マクロのカテゴリ別 SCPI コマンド.....	A-1

1
付録

第1章 Tcl インタフェースの概要

この章では, Tcl インタフェースの機能の概要と特長について説明します。「Tcl」は, ツールコマンドランゲージ (Tool Command Language) の頭文字をとったもので, 「ティクル」と発音します。

1

 マクロカテゴリで分類された SCPI コマンドのリストについては, 付録 A「マクロカテゴリ別 SCPI コマンド」を参照してください。

Tcl インタフェースの概要

1.1	Tcl インタフェースの概要	1-2
1.1.1	参考情報	1-2
1.2	概念	1-3
1.2.1	はじめに	1-3
1.3	操作ガイドライン	1-4
1.3.1	MD1230A Tcl サーバの起動	1-4
1.3.2	MD1230A Tcl および SCPI コマンド構文	1-4

このマニュアルは、MD1230A データクオリティアナライザの Tcl 開発者ガイドとしての役割を果たし、幅広い環境で Tcl スクリプト言語を使用するプログラムコントロールなどの中上級の課題について説明します。このマニュアルでは、SCPI (Standard Commands for Programmable Instruments) のコマンドおよびレスポンスインタフェースを使用する MD1230A のリモートコントロール操作について熟知しているものと想定しています。また、Tcl インタプリティブスクリプト言語を使用する基本的なプログラミング構成とテクニックについての知識もあるものと想定しています。コードサンプルは、クーリエ (Courier) フォントで表記されています。

1.1 Tcl インタフェースの概要

MD1230A Tcl インタフェースは、MD1230A の動作の構成と実行を自動化するためのオプションユーザインタフェースです。Tcl API は、MD1230A SCPI リモートコマンドへの一般的なソケットベースインタフェースを提供します。SCPI のコマンドとクエリは、Tcl プログラミング環境でスクリプト化でき、繰り返し行うタスクにフレキシビリティを与えて自動化することができます。図 1.1-1 は、Tcl/MD1230A インタフェースを示します。

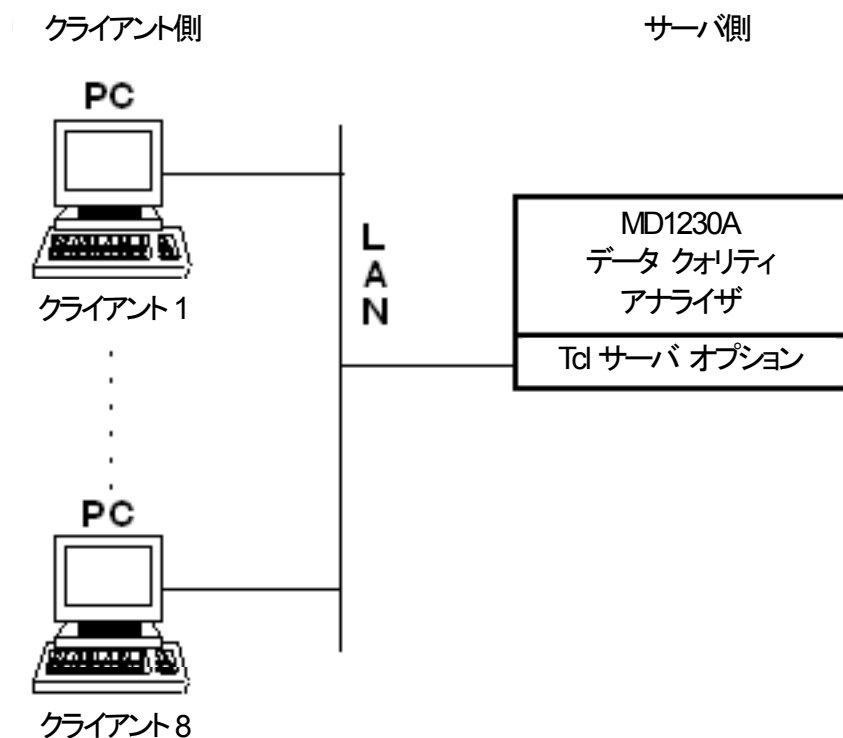


図 1.1-1 MD1230A の Tcl インタフェースアーキテクチャ

1.1.1 参考情報

ツールコマンド言語 (Tcl : Tool Command Language) インタプリタ + SCRIPTING 言語は、1988 年に John Ousterout (カリフォルニア大学バークレー校, Sun, Scriptic) が考案したものです。

- <http://www.tcl.tk/>
- <http://www.SCPIconsortium.org/>
- <http://www.activestate.com/>

1.2 概念

1.2.1 はじめに

自動化コマンドシーケンスを Tcl スクリプトで実現するには、GUI および SCPI インタフェースに必要な事前の接続および構成段階のすべてがここでも必要です。目標とするテストポイントまでのパスは、基本階層に従います。

- ユニット – 最大 8 台の MD1230A ユニートを同時接続
- モジュール – MD1230A で 5 スロットを使用可能
- ポート – モジュールによる

SCPI コマンド/レスポンスの命名規則が示すように、各コマンドで呼び出される操作は、スタティックまたは単一イベント指向になっています。MD1230A 用のためのこのコマンド構造をマスターすることが、MD1230A のコマンド・ラインリモートコントロールを成功させるための最初のステップになります。

MD1230A Tcl スクリプティングインタフェースは、こうした単一イベント指向命令の縦・横のプログラミング設定およびコントロールを開発するためのプラットフォームを提供します。縦のプログラミングの整合性によって、機能クラス内のプログラムコマンド/リクエストを定義します。縦の整合性の例には、同じ Tcl プログラマチックルーピング構成を使用し、共通データパラメータをあらかじめ定義されたデータマトリクスで初期化する場合があります。

横の整合性とは、同じコマンドを使用して命令クラス全体で類似機能をプログラミングするという意味です。横の整合性の例には、同じ Tcl プログラマチックルーピング構成を適用し、複数のモジュールタイプでパケット測定用のひとつのカウンタをセットアップする場合があります。

プログラマが Tcl の機能で経験を積んでいくと、クライアントの Tcl スクリプト作成を簡素化できます。Tcl ソケットの SCPI 埋め込み構文を直接呼び出すのに使用する以下の少数の共通 Tcl コマンドを特定するだけですみます。

- puts
- gets
- flush

これらの基本的な Tcl I/O コマンドと、レスポンスを吟味するためのいくつかの共通 Tcl 文字列説明コマンドが、意味のある自動化された MD1230A の操作のスクリプト化に必要なコマンドのすべてです。

1.3 操作ガイドライン

1.3.1 MD1230A Tclサーバの起動

MD1230A の Selector Application で Tcl Application ボタンをクリックすると、Tcl サーバが起動します。図 1.3-1 は、Selector Application を示します。

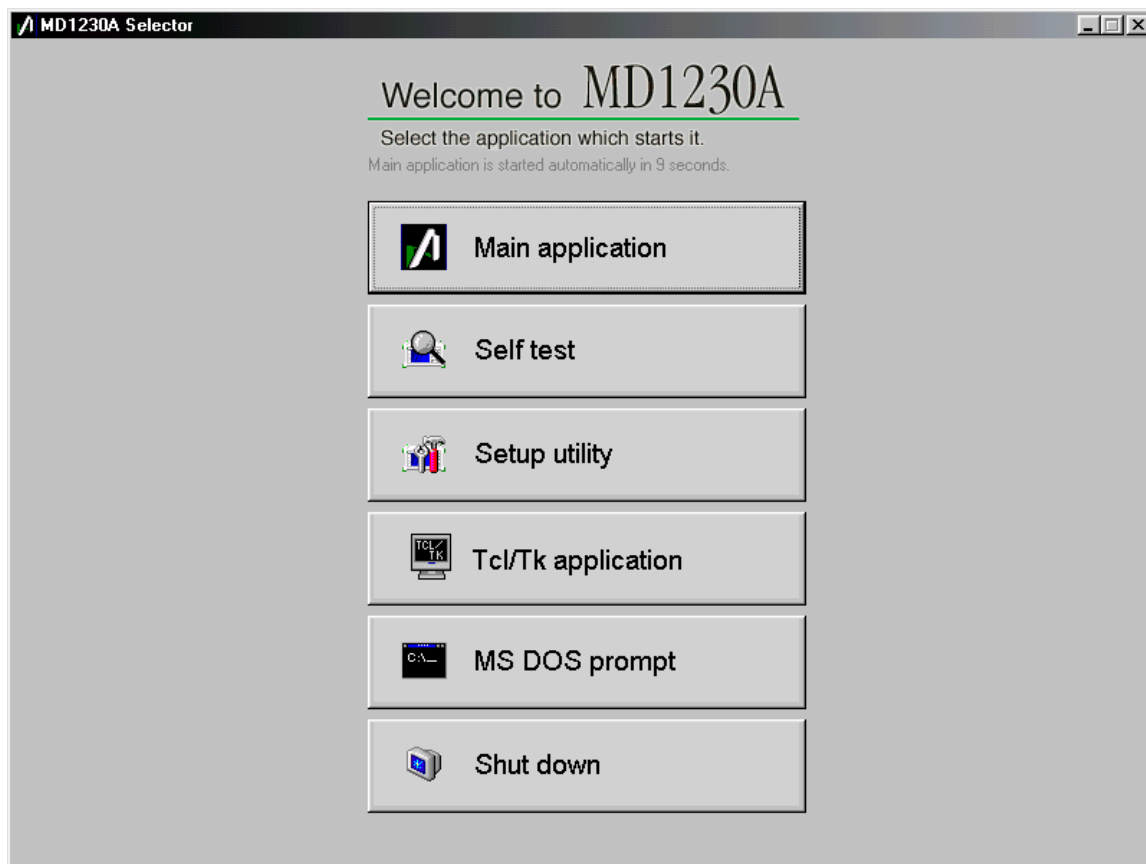


図 1.3-1 MD1230A の Selector Application

Tcl サーバがいったん起動すると、他のローカル GUI のユーザや単一リモートコントロールインタフェースのユーザは、MD1230A に接続できません。リモート GUI のユーザは、MD1230A に接続できます。

1.3.2 MD1230A TclおよびSCPIコマンド構文

MD1230Aのリモートコマンドの手法や能力の詳細な説明は、本書の対象外です。SCPI 構文を Tcl インタフェースやコマンドラインインタフェースに埋め込むのに必要な構文スタイルの例は、この章に記載されています。MD1230A のコマンドシーケンスの詳細は、「リモートコントロール取扱説明書」に記載されています。

1.3.2.1 コマンド構文

コマンドには、次の 3 つのタイプがあります。

- SCPI コマンド
- マクロコマンド
- 特殊用途コマンド

SCPI コマンド

SCPI コマンドのコマンド構文は、SCPI 標準によります。

マクロコマンド

マクロコマンドは、基本 SCPI コマンドとは別のよりユーザフレンドリなプログラミングコマンドを提供するためにアンリツ株式会社が用意したコマンドです。マクロコマンドは基本 SCPI コマンドの上に作成され、各マクロコマンドには 1 つまたは複数の SCPI コマンドが入っています。SCPI コマンドが使えれば、いつでも使用できます。

コマンドの基本構文は次のとおりです。

```
M_COMMANDNAME:<VariableName>=<VALUE>,  
<VariableName>=<VALUE>...
```

```
M_COMMANDNAME?:<VariableName>, <VariableName>=<VALUE>,  
<VariableName>
```

マクロコマンドに入れるパラメータは、数を変えることができます。定義により、これらの変数名を構成して SCPI コマンドにユーザフレンドリな具体名を付けます。複数の変数名は、SCPI コマンドを使用して、「:」(コロン)を移動して構成します。このリリースでは、3 つのマクログループが提供されています。以下で説明します。

- M_PORTSETTING
- M_CAPTURE
- M_TXSTREAM

マクロコマンドへのレスポンスの例を以下に示します。

```
M_COMMANDNAME:<VariableName> <ErrorStatus>,  
<VariableName> <ErrorStatus>...
```

```
M_COMMANDNAME?:<VariableName> <Value/ErrorStatus>,  
<VariableName> <Value/ErrorStatus>...
```

 マクロカテゴリで分類された SCPI コマンドのリストについては、付録 A「マクロカテゴリ別 SCPI コマンド」を参照してください。

M_PORTSETTING グループ(ポート設定に使用)

M_PORTSETTING:<VARIABLE1 NAME> = <VARIABLE1 VALUE>,
<VARIABLE2 NAME> = <VARIABLE2 VALUE>...

M_PORTSETTING?:<VARIABLE1 NAME>, <VARIABLE2 NAME>...

M_CAPTURE グループ(データ取り込みの開始/停止に使用)

M_CAPTURE:<VARIABLE1 NAME> = <VARIABLE1 VALUE>, <VARIABLE2
NAME> = <VARIABLE2 VALUE>...

M_CAPTURE?:<VARIABLE1 NAME>, <VARIABLE2 NAME>...

- **M_CAPTUREFILTERSETTING** (データ取り込み用フィルタの設定に使用)
M_CAPTUREFILTERSETTING:<VARIABLE1 NAME> = <VARIABLE1
VALUE>, <VARIABLE2 NAME> = <VARIABLE2 VALUE>...

M_CAPTUREFILTERSETTING?:<VARIABLE1 NAME>, <VARIABLE2
NAME>...

- **M_CAPTURETRIGGERSETTING**
(データ取り込みを開始/停止するトリガ設定に使用)
M_CAPTUREFILTERSETTING:<VARIABLE1 NAME> = <VARIABLE1
VALUE>, <VARIABLE2 NAME> = <VARIABLE2 VALUE>...

M_CAPTUREFILTERSETTING?:<VARIABLE1 NAME>, <VARIABLE2
NAME>...

M_TXSTREAM グループ(ストリーム送信の停止/開始に使用)

M_TXSTREAM:<VARIABLE1 NAME> = <VARIABLE1 VALUE>, <VARIABLE2
NAME> = <VARIABLE2 VALUE>...

M_TXSTREAM?:<VARIABLE1 NAME>, <VARIABLE2 NAME>...

- **M_TXSTFRAMESETTING** (送信するフレームの構成に使用)
M_TXSTFRAMESETTING:<VARIABLE1 NAME> = <VARIABLE1 VALUE>,
<VARIABLE2 NAME> = <VARIABLE2 VALUE>,...

M_TXSTFRAMESETTING?:<VARIABLE1 NAME>, <VARIABLE2 NAME>...

- **M_TXSTCONTROLSETTING** (送信するデータのストリームの構成に使用)
M_TXSTCONTROLSETTING:<VARIABLE1 NAME> = <VARIABLE1
VALUE>, <VARIABLE2 NAME> = <VARIABLE2 VALUE>,...

M_TXSTCONTROLSETTING?:<VARIABLE1 NAME>, <VARIABLE2
NAME>...

特殊用途コマンド

特殊用途コマンドは、Tel サーバ管理、Tel サーバからクライアントを切断、Tel サーバのシャットダウンなどの機能実行のために用意されています。

- S_DISCONNECTCLIENT (サーバからクライアントを切断に使用)
- S_SHUTDOWNSERVER (サーバの穏やかなシャットダウンに使用)
- S_CLIENTINFO (Tel サーバのクライアントによる MD1230A のリソース割り当てに関する情報の取り出しに使用)

1.3.2.2 接続およびコマンドシーケンスの例

操作ガイドライン

Tcl サーバを効率よく利用するために、クライアント環境から通信するときは以下のガイドラインに従ってください。Tcl インタフェース経由で MD1230A をコントロールするときは、ユニット接続、モジュール選択、およびポート予約のための基本操作ガイドラインがすべてここでも厳密に当てはまります。

1. クライアントは、まず Tcl サーバに接続する必要があります。接続すると、サーバはすぐに接続詳細を送信します。次に例を示します。

Telnet で、

```
Telnet <Server IP Address> 35001
```

Server IP Address は、Unit Windows Address です。

Tcl で、

```
Set sock [socket <server IP Address> 35001]
```

2. コマンド用語

リクエスト – クライアントはなんらかのデータを取り出し中です。たとえば、次のとおりです。

```
:UENTry:ID?
```

コマンド – クライアントはアクションを実行中です。たとえば、次のとおりです。

```
:UENTry:ID <Id no>
```

3. サーバへの接続がいったん確立されると、クライアントはコマンド/リクエストまたはスクリプトを実行できます。

Telnet で、

```
:UENTry:ID <Id no>
```

Tcl で、

```
puts $sock:UENTry:ID <Id no>
```

```
flush $sock.
```

4. なにかコマンド/リクエストを実行する前に、クライアントは、その後さらにコマンド/リクエストを実行するためのユニット ID、モジュール ID、およびポート ID を設定する必要があります。ユニット、モジュール、およびポートを設定するには、以下のコマンドを(任意の順序で)使用します。

```
:UENTry:ID <Id no>
```

```
:MODULE:ID <Id no>
```

```
:PORT:ID <Id no>
```

5. ユニット ID、モジュール ID、およびポート ID を設定した後、クライアントは任意のコマンド/リクエストを実行できます。たとえば、次のとおりです。

```
:UENTry:ID?
```

6. 特定のポートで任意のコマンドを実行するとき、クライアントはまずポートを予約する必要があります。ポートを予約せずにコマンドを実行しても、コマンドは失敗します。ただし、リクエストの場合はクライアントが最初にポートを予約する必要はありません。たとえば、次のとおりです。

クライアント A は、テルネットセッションで以下のコマンドを実行しようとしています。

```
:Ethernet:ERRor:COLLision:ENABle OFF
```

クライアントは、まず上記のコマンドを実行するポートを予約する必要があります。

```
:PORT:OWNERSHIP:TAKE
```

以下のリクエストを実行したい場合は、最初にポートを予約する必要はありません。

```
:Ethernet:ERRor:COLLision:ENABle?
```

7. ポート予約は、クライアントを基準に行われます。あるクライアントがあるポートを予約すると、別のクライアントは同じポートを予約できません。たとえば、次のとおりです。

クライアント A は、テルネットセッションで以下のコマンドを実行しようとしています。

```
:PORT:OWNERSHIP:TAKE
```

```
RESULT Success
```

クライアント B が同じポートを予約しようすると、次のレスポンスを受信します。

```
:PORT:OWNERSHIP:TAKE
```

```
RESULT Failed2020, Not owner
```

8. 16 進法フォーマットで入力するコマンドがいくつかあります。このため、クライアントは前に「#H」を付けて 16 進法でデータを提供する必要があります。
9. 受信するコマンドごとに、Tel サーバはレスポンスを送信します。次に、コマンドリクエストレスポンスの例を示します。
Result <Success/Failure>[Data]

10. クライアントは、一度に多数のコマンドを実行できますが、サーバは受信したのと同じ順序でレスポンスを送信します。できるだけレスポンスを待ってから次のコマンドを実行してください。

たとえば、クライアントはテルネットセッションで以下のコマンドを実行できます。

```
:PORT:OWNERSHIP:TAKE
:Ethernet:ERRor:COLLision:ENABle OFF
:Ethernet:ERRor:COLLision:ENABle?
:Ethernet:ERRor:COLLision:INTerval 2
:Ethernet:ERRor:COLLision:INTerval?
```

レスポンスは、同じ順序で送り返されます。

```
RESULT Success
RESULT Success
RESULT SuccessOFF
RESULT Success
RESULT Success2
```

11. サーバがコマンドに対するコマンドサーバレスポンスをまったくサポートしていなければ、以下の内容が送り返されます。

```
<Command>:RESULT FailedCommand not supported
```

12. コマンド/リクエストに大文字-小文字の区別はありません。たとえば、以下のコマンドはどちらも問題なく実行されます。

```
:PORT:OWNERSHIP:TAKE
:pORt:ownership:TAKE
```

13. SCPI コマンドに加えて、M_TXSTREAM, M_PORTSETTING などのマクロコマンドがあります。マクロコマンドは、基本 SCPI コマンドの上に作成され、各マクロコマンドには、1 つまたは複数の SCPI コマンドを入れることができます。SCPI コマンドが使えるれば、いつでも使用できます。マクロコマンドを実行する前に、SCPI コマンドについて確実に熟知しておいてください。たとえば、以下の SCPI コマンドを実行する代わりに、

```
:PORT:ETHernet:MADdress #H010203040506
:PORT:IP:IADdress #HC0A80103
:PORT:IP:GATeway #HC0A80100
:PORT:IP:NETMask #FFFFFFF00
```

以下のマクロコマンドを実行できます。

```
M_PortSetting:PORTETHernetMADdress=#H010203040506,
PORTIPIADdress=#HC0A80103, PORTIPNETMask=#FFFFFFF00,
PORTIPGATeway=#HC0A80100"
```

14. サーバ側から切断するときは、次のコマンドを使用します。

```
S_DISCONNECTCLIENT
```

注:

1. Tx Stream の設定について

Tx Stream の設定を行う場合は、マクロコマンドを使用することをお勧めします。

Tel サーバは、Tx Stream 設定用のマクロコマンド (M_TxStControlSetting, M_TxStFrameSetting) の最後尾に、Tx Stream 設定の書き込みコマンド (:TSTReam:TABLE:WRITE) を自動的に出力します。

複数のクライアントが接続される場合、上記 Tx Stream 設定用のマクロコマンドを使わないと、設定が確実に行われない場合がありますので注意してください。

Tx Stream の設定を行うには、たとえば以下のように設定します。

```
M_TxStControlSetting: TSTReamTABLEITEMCONTrol
DISTribution=CONT
```

```
M_TxStFrameSetting: TSTReamTABLEITEMFSIZEType=
FIXED, TSTReamTABLEITEMFSIZEVALue=1518, TSTReam
TABLEITEMFRAMEETHernetDAVALue=#H000001000401,
TSTReamTABLEITEMFRAMEETHernetSAType=THIS_PORT,
TSTReamTABLEITEMFRAMEETHernetDAType=STATIC
```

2. *RST コマンドについて

複数のクライアントが Tel サーバに接続されている場合、1 つのクライアントから *RST コマンドを送出すると、初期化の範囲はすべてのクライアントにおよびます。

各クライアントが独立して動作する環境では、予期しない動作を誘発する恐れがありますので、*RST コマンドを使用する場合は注意してください。

また、グループ機能を使用して複数ポート、複数モジュール、複数ユニットを使用している場合、*RST コマンドを送出すると、グループ設定が解除されます。その後もグループ機能を使用し続けるには、グループ設定を再度やり直す必要がありますので注意してください。

3. グループの削除について

:GENTry:DELeTe コマンドを使ってグループを削除する場合、グループ番号が再配置されます。たとえば、GROUP1, GROUP2, GROUP3 が登録されていた場合、GROUP1 を削除すると、GROUP1, GROUP2 が登録された状態になります。これは、GROUP2 → GROUP1, GROUP3 → GROUP2 に再配置されたことを示します。

各クライアントが独立して動作する環境では、グループ番号の再配置が行われると予期しない動作を誘発する恐れがありますので、:GENTry:DELeTe コマンドを使用する場合は注意してください。

1.3.2.3 開発者ガイドライン

操作を開始しやすくするために、注釈付きのサンプルスクリプトを以下に示します。スクリプトエントリの説明については、スクリプトの後の表を参照してください。

サンプル Tcl スクリプト

このスクリプトは、ポートを予約し、MI1230A のいろいろなモジュールでいくつかポート設定を行うときに使用するサンプルテストコードを示します。このサンプルコードの主目的は、SCPI、マクロ、および特殊コマンドをクライアントスクリプトでいっしょに使用方法を説明することにあります。Tcl サーバに接続し、いろいろな MD1230A モジュールのポートで動作します。

```

1.  *****
2.  /* THIS FILE HAS tclSelfTestOccupiesPort FUNCTION WHICH COULD BE USED IN */
3.  /* SELFTEST OF TCL. THIS ROUTINE USES TRANSPARENT VARIABLE NAME.      */
4.  *****
5.  *****
6.  /* FUNCTION-NAME:  tclModuleTypeToNoOfPort { moduleType lngMaxPort } */
7.  /* FUNCTION:      map module type to no of ports                      */
8.  /* INPUT:         moduleType lngMaxPort                               */
9.  /* OUTPUT:        no of ports                                         */
10. /* RETURN-VALUE:  Nothing                                             */
11. /* DESCRIPTION:   本サンプルプログラムは、各モジュールに色々な設定をす
12. /*               るサンプルです。測定は実施しません。(信号は出力しま
13. /*               せん) 本プログラムはMD1230AのSlot1, Slot2, Slot4に下記
14. /*               モジュールが挿入されている場合を想定しています。
15. /*               Slot1: 10M/100M モジュール (MU120101A/11A)
16. /*               Slot2: GBE モジュール (MU120102A/12A/18A)
17. /*               Slot4: 2.5G or 10G POS モジュール (MU120103A/04A/05A/06A)
18.  *****
19.
20. proc tclModuleTypeToNoOfPort { moduleType lngMaxPort } {
21. upvar $lngMaxPort ret
22.
23.     switch -exact -- $moduleType {
24.         1 { set ret 8 }
25.         2 { set ret 2 }
26.         5 -
27.         6 -
28.         7 -
29.         3 -
30.         4 { set ret 1 }
31.         default { set ret 0 }
32.     }
33.
34. }
35.
36.  *****
37.  /* FUNCTION-NAME:  tclSelfTestOccupiesPort { moduleId moduleType sock } */
38.  /* FUNCTION:      Initialization of port for selftest                      */
39.  /* INPUT:         moduleId moduleType sock                               */
40.  /* OUTPUT:        NONE                                                    */
41.  /* RETURN-VALUE:  NONE                                                    */
42.  /* DESCRIPTION:   */
43.  /*               */
44.  /*               */
45.  /*               */
46.  /*               */
47.  /*               */
48.  /*               */
49.  *****
50.
51. proc tclSelfTestOccupiesPort { moduleId moduleType sock } {
52. set lngMaxPort 0
53.     tclModuleTypeToNoOfPort $moduleType lngMaxPort
54.     puts $sock ":Module:ID $moduleId"

```

```

55.     flush $sock
56.
57.     gets $sock cmdResponse
58.     puts stdout "tclSelfTestOccupiesPort .... start"
59.
60.     for { set lngPCnt 1 } { $lngPCnt <= $lngMaxPort } { incr lngPCnt } {
61.         puts $sock ":PORT:ID $lngPCnt"
62.         flush $sock
63.         gets $sock cmdResponse
64.         puts $sock ":PORT:OWNership:TAKE"
65.         flush $sock
66.         gets $sock cmdResponse
67.         puts $sock ":PORT:OWNership:CUSE?"
68.         flush $sock
69.         gets $sock cmdResponse
70.         puts $sock "M_PortSetting: PORTETHERnetMADdress=#H010203040506,
PORTIPIADdress=#HCOA80103, PORTIPNETMask=#HFFFFFF00, PORTIPGATeway=#HCOA80100"
71.
72.         flush $sock
73.         gets $sock cmdResponse
74.         puts $sock "M_PortSetting: PORTETHERnetMIILBACKENABLE=ON"
75.         flush $sock
76.         gets $sock cmdResponse
77.
78.         switch -exact -- $moduleType {
79.             1 {
80.                 puts $sock "M_PortSetting: PORTETHERnetARPREPLYMODE=OFF,
PORTICMPERePLYMODE=OFF"
81.                 flush $sock
82.                 gets $sock cmdResponse
83.                 if { $lngPCnt == 1 || $lngPCnt == 2 } {
84.                     puts $sock ":PORT:THROUGH:ENABLE OFF"
85.                     flush $sock
86.                     gets $sock cmdResponse
87.                 }
88.
89.                 puts $sock "M_PortSetting: PORTETHERnetMIILANEGotiationENABLE=OFF,
PORTETHERnetMIILANEGotiationDMODE=FULL, PORTETHERnetMIILANEGotiationLSPeED=S100M,
PORTETHERnetMIILBACKENABLE=ON"
90.                 flush $sock
91.                 gets $sock cmdResponse
92.             }
93.             2 {
94.                 puts $sock "M_PortSetting: PORTETHERnetARPREPLYMODE=OFF,
PORTICMPERePLYMODE=OFF"
95.                 flush $sock
96.                 gets $sock cmdResponse
97.
98.                 if { $lngPCnt == 1 || $lngPCnt == 2 } {
99.                     puts $sock ":PORT:THROUGH:ENABLE OFF"
100.                    flush $sock
101.                    gets $sock cmdResponse
102.                }
103.                puts $sock "M_PortSetting: PORTETHERnetMIILANEGotiationENABLE=OFF,
PORTETHERnetMIILANEGotiationDMODE=FULL, PORTETHERnetMIILBACKENABLE=ON"
104.                flush $sock
105.                gets $sock cmdResponse
106.            }
107.            4 {
108.                puts $sock ":MODule:SDH:CLOCK:TYPE INTERNAL"
109.                flush $sock
110.                gets $sock cmdResponse
111.                puts $sock ":MODule:SDH:CLOCK:VARiable:ENABLE ON"
112.                flush $sock
113.                gets $sock cmdResponse
114.                puts $sock ":MODule:SDH:CLOCK:VARiable:Value 0"
115.                flush $sock
116.                gets $sock cmdResponse
117.                puts $sock ":PORT:THROUGH:ENABLE OFF"
118.                flush $sock

```

```
119.             gets $sock cmdResponse
120.             puts $sock ":PORT:SDH:MAPPING PPP"
121.             flush $sock
122.             gets $sock cmdResponse
123.             puts $sock "M_PortSetting: PORTETHERnetARPREPLYMODE=OFF,
PORTICMPEReReplyMODE=ON"
124.             flush $sock
125.             gets $sock cmdResponse
126.             puts $sock "M_PortSetting: PORTPPPSORambleENABLE=ON,
PORTPPDESCRambleENABLE=ON, PORTPPPFLENgth=L1BYTE, PORTPPPNEGotiationENABLE=ON,
PORTPPPNEGotiationMRUTX=1500, PORTPPPIPCPENABLE=ON, PORTPPPNEGotiationRETRYCOUNT=3,
PORTPPPNEGotiationRETRYTIMEout=3"
127.             flush $sock
128.             gets $sock cmdResponse
129.         }
130.     }
131. }
132. puts stdout "tclSelfTestOccupies ...end"
133. }
134. set sock [ socket 192.168.0.1 35001 ];
135. gets $sock line
136. tclSelfTestOccupiesPort 1 1 $sock
137. tclSelfTestOccupiesPort 2 2 $sock
138. tclSelfTestOccupiesPort 4 4 $sock
139. puts $sock "S_DISCONNECTCLIENT"
```

サンプル Tcl スクリプトの注釈

ライン 番号	説 明
1~19	コメント
20	proc tclModuleTypeToNoOfPort { moduleType lngMaxPort } { プロシージャ名 tclModuleTypeToNoOfPort をパラメータ moduleType および lngMaxPort で宣言します。
21	Upvar \$lngMaxPort ret 変数へのリンクを別のスタックフレームで作成します。
22	コメント
23	switch -exact -- \$moduleType { スイッチまたはケースステートメント用の Tcl 構文です。\$moduleType に格納された値を解析し、一致を検索します。 文字列をパターンと比較するときは完全な一致を使用します。これがデフォルトです。
24	1 { set ret 8 } \$moduleType に格納されたデータが「1」の場合は「ret」の値を「8」に設定します。
25	2 { set ret 2 } \$moduleType に格納されたデータが「2」の場合は「ret」の値を「2」に設定します。
26~30	5 - 6 - 7 - 3 - 4 { set ret 1 } \$moduleType に格納されたデータが「3~7」の場合は「ret」の値を「1」に設定します。
31	default { set ret 0 } デフォルトです。一致が見つからない場合は「ret」を「0」に設定します。
32	} Tcl スイッチステートメントを終了します。
33	コメント
34	} プロシージャ tclModuleTypeToNoOfPort を終了します。
35~50	コメント
51	Proc tclSelfTestOccupiesPort { moduleId moduleType sock } { プロシージャ tclSelfTestOccupiesPort をパラメータ moduleId, moduleType, および sock で宣言します。
52	set lngMaxPort 0; グローバル'upvar' lngMaxPort を 0 に設定します。
53	TclModuleTypeToNoOfPort \$moduleType lngMaxPort; パラメータ \$moduleType および lngMaxPort を渡すプロシージャ tclModuleTypeToNoOfPort を呼び出します。
54	puts \$sock ":Module:ID \$moduleId" “文字列をソケットに出力します。このコマンドでは、テスト用のスロット番号と対応するモジュールタイプを選択します。
55	flush \$sock 文字列を送信します。

ライン 番号	説 明
56	コメント
57	<code>gets \$sock cmdResponse;</code> レスポンスを読み取ります。
58	<code>puts stdout "tclSelfTestOccupiesPort ... start";</code> “文字列をコンソールに印刷出力します。
59	コメント
60	<code>for { set lngPCnt 1 } { \$lngPCnt <= \$lngMaxPort } { incr lngPCnt }</code> { ボード上の全ポートをカバーするためのループ用です。
61	<code>puts \$sock ":PORT:ID \$lngPCnt"</code> “文字列をソケットに出力します。このコマンドでは、テスト用のポート番号を選択します。
62	<code>Flush \$sock</code> 文字列を送信します。
63	<code>Gets \$sock cmdResponse;</code> レスポンスを読み取ります。
64	<code>Puts \$sock ":PORT:OWNership TAKE"</code> “文字列をソケットに出力します。このコマンドでは、このポートを予約します。
65	<code>Flush \$sock</code> 文字列を送信します。
66	<code>Gets \$sock cmdResponse;</code> レスポンスを読み取ります。
67	<code>Puts \$sock ":PORT:OWNership:CUSE?"</code> “文字列をソケットに出力します。このコマンドでは、予約を確認します。
68	<code>flush \$sock;</code> 文字列を送信します。
69	<code>gets \$sock cmdResponse;</code> レスポンスを読み取ります。
70	<code>Puts \$sock "M_PortSetting: PORTETHERnetMADdress=#H010203040506, PORTIPIADdress=#HC0A80103, PORTIPNETMask=#FFFFFFF00, PORTIPGATeway=#HC0A8010"</code> “文字列をソケットに出力します。MAC アドレス, IP アドレス, ネットマスク, およびゲートウェイ IP アドレス(IP 表記は 16 進法)に対してポートを設定するマクロコマンドです。
71	コメント
72	<code>Flush \$sock</code> 文字列を送信します。
73	<code>gets \$sock cmdResponse;</code> レスポンスを読み取ります。
74	<code>puts \$sock "M_PortSetting: PORTETHERnetMIILBACKENABLE=ON"</code> “文字列をソケットに出力します。Enable Loopback モード用にポートを設定するマクロコマンドです。
75	<code>flush \$sock</code> 文字列を送信します。
76	<code>gets \$sock cmdResponse;</code> レスポンスを読み取ります。
77	コメント

ライン 番号	説 明
78	Switch -exact -- \$moduleType { スイッチまたはケースステートメント用の Tel 構文です。\$moduleType に格納された値を解析し、一致を検索します。 文字列をパターンと比較するときは完全な一致を使用します。これがデフォルトです。
79	1 \$moduleType に格納されたデータが「1」の場合。
80	puts \$sock "M_PortSetting: PORTETHERnetARPREPLYMODE=OFF, PORTICMPEReReplyMODE=OFF" “ “文字列をソケットに出力します。このポートで Enable ARP 応答用にポートを設定するマクロコマンドです。
81	flush \$sock 文字列を送信します。
82	gets \$sock cmdResponse; レスポンスを読み取ります。
83	if { \$lngPCnt == 1 \$lngPCnt == 2 } { ポート番号が 1 または 2 の場合。
84	puts \$sock ":PORT:THROUGH:ENABLE OFF" “ “文字列をソケットに出力します。このコマンドは、Though モードを有効にします。
85	flush \$sock 文字列を送信します。
86	gets \$sock cmdResponse; レスポンスを読み取ります。
87	} if { \$lngPCnt == 1 \$lngPCnt == 2 } { を終了します。
88	コメント
89	puts \$sock "M_PortSetting:PORTETHERnetMIIANEGotiationENABLE=OFF, PORTETHERnetMIIANEGotiationDMODE=FULL, PORTETHERnetMIIANEGotiationLSpeed=100M, PORTETHERnetMIIIBACKENABLE=ON" “ “文字列をソケットに出力します。詳細構成のためにポートを設定するマクロコマンドです。
90	flush \$sock 文字列を送信します。
91	gets \$sock cmdResponse; レスポンスを読み取ります。
92	} 1{ を終了します。
93	{ \$moduleType に格納されたデータが「2」の場合。
94	Puts \$sock "M_PortSetting: PORTETHERnetARPREPLYMODE=OFF, PORTICMPEReReplyMODE=OFF" “ “文字列をソケットに出力します。ポート設定を行うマクロコマンドです。このポートでの ARP および ICMP 応答を無効にします。
95	Flush \$sock データを送信します。
96	Gets \$sock cmdResponse; レスポンスを読み取ります。
97	コメント

ライン 番号	説 明
98	if { \$lngPCnt == 1 \$lngPCnt == 2 } { ポート番号が 1 または 2 の場合。
99	puts \$sock ":PORT:THROUGH:ENABLE OFF" “文字列をソケットに出力します。
100	flush \$sock データを送信します。
101	gets \$sock cmdResponse; レスポンスを読み取ります。
102	} if { \$lngPCnt == 1 \$lngPCnt == 2 } { を終了します。
103	puts \$sock "M_PortSetting:PORTETHERNETMIIANEGotiationENABLE=OFF, PORTETHERNETMIIANEGotiationDMODE=FULL,PORTETHERNETMIIILBACKENABl e=ON" “文字列をソケットに出力します。ポート設定を行うマクロコマンドです。
104	flush \$sock データを送信します。
105	gets \$sock cmdResponse; レスポンスを読み取ります。
106	} 2{を終了します。
107	4{ \$moduleType に格納されたデータが「4」の場合。
108	puts \$sock ":MODULE:SDH:CLOCK:TYPE INTERNAL" “文字列をソケットに出力します。
109	flush \$sock データを送信します。
110	gets \$sock cmdResponse; レスポンスを読み取ります。
111	puts \$sock ":MODULE:SDH:CLOCK:VARIABLE:ENABLE ON" “文字列をソケットに出力します。
112	flush \$sock データを送信します。
113	gets \$sock cmdResponse; レスポンスを読み取ります。
114	puts \$sock ":MODULE:SDH:CLOCK:VARIABLE:VALUE 0" “文字列をソケットに出力します。
115	flush \$sock データを送信します。
116	gets \$sock cmdResponse; レスポンスを読み取ります。
117	puts \$sock ":PORT:THROUGH:ENABLE OFF" “文字列をソケットに出力します。
118	flush \$sock データを送信します。
119	gets \$sock cmdResponse; レスポンスを読み取ります。
120	puts \$sock ":PORT:SDH:MAPPING PPP" “文字列をソケットに出力します。
121	Flush \$sock データを送信します。

ライン 番号	説 明
122	gets \$sock cmdResponse; レスポンスを読み取ります。
123	puts \$sock "M_PortSetting: PORTETHERnetARPrePLYMODE=OFF, PORTICMPERePLYMODE=ON" “文字列をソケットに出力します。ポート設定を行うマクロコマンドです。
124	Flush \$sock 文字列を送信します。
125	gets \$sock cmdResponse; レスポンスを読み取ります。
126	puts \$sock "M_PortSetting: PORTPPPSCrableENABLE=ON,PORTPPPDSCrambleENABLE=ON,PORTPPPFLENg th=L1BYTE, PORTPPPNEGotiationENABLE=ON, PORTPPPNEGotiationMRUTX=1500 , PORTPPPIPCPENable=ON, PORTPPPNEGotiationRETRYCOUNT=3 , PORTPPPNEGotiationRETRYTIMEout=3" “文字列をソケットに出力します。各種の詳細 SONET パラメータのため にポート設定を行うマクロコマンドです。
127	Flush \$sock データを送信します。
128	gets \$sock cmdResponse; レスポンスを読み取ります。
129	} 4{を終了します。
130	} switch -exact -- \$moduleType { を終了します。
131	} for loopを終了します。
132	puts stdout "tclSelfTestOccupiesPort ... end"; “文字列をソケットに出力します。
133	} proc tclSelfTestOccupiesPort を終了します。
134	set sock [socket 192.168.0.1 35001] ; MAIN プログラム セクションを開始します。 Tcl クライアントは, 192.168.0.1 ポート 35001 のサーバに接続します。
135	gets \$sock line レスポンスの整合性をとります。
136	TclSelfTestOccupiesPort 1 1 \$sock; モジュール 1, タイプ 1 のポートを占有します。
137	TclSelfTestOccupiesPort 2 2 \$sock; モジュール 1, タイプ 2 のポートを占有します。
138	TclSelfTestOccupiesPort 4 4 \$sock; モジュール 1, タイプ 4 のポートを占有します。
139	puts \$sock "S_DISCONNECTCLIENT" クライアントを切断します。

付録 A マクロのカテゴリ別 SCPI コマンド	A-1
--------------------------------	-----

A. マクロのカテゴリ別 SCPI コマンド

以下の表に、マクロのカテゴリ別グループごとに SCPI コマンドを説明します。

SCPI	SCPI リクエスト	トランスペアレント変数名	マクロ名
-	:PORT:LINK?	PORTLINK	M_PortSetting
:PORT:ICMP:EREPLY:MODE	:PORT:ICMP:EREPLY:MODE?	PORTICMPEREPLYMODE	M_PortSetting
:PORT:IP:GATeway	:PORT:IP:GATeway?	PORTIPGATeway	M_PortSetting
:PORT:IP:IADdress	:PORT:IP:IADdress?	PORTIPIADdress	M_PortSetting
:PORT:IP:NETMask	:PORT:IP:NETMask?	PORTIPNETMask	M_PortSetting
:PORT:{SDH SONet}:MAPPing	:PORT:{SDH SONet}:MAPPing?	PORT{SDH SONet}MAPPing	M_PortSetting
:PORT:THRough:ENABLE	:PORT:THRough:ENABLE?	PORTTHRoughENABLE	M_PortSetting
:PORT:{SDH SONet}:THRough:OOVerwrite	:PORT:{SDH SONet}:THRough:OOVerwrite?	PORT{SDH SONet}THRoughOOVerwrite	M_PortSetting
-	:PORT:{SDH SONet}:BRATe?	PORT{SDH SONet}BRATe	M_PortSetting
:PORT:PPP:DESCramble:ENABLE	:PORT:PPP:DESCramble:ENABLE?	PORTPPDESCrambleENABLE	M_PortSetting
:PORT:PPP:FLENgth	:PORT:PPP:FLENgth?	PORTPPPFLENgth	M_PortSetting
:PORT:PPP:SCRamble:ENABLE	:PORT:PPP:SCRamble:ENABLE?	PORTPPPPSCRambleENABLE	M_PortSetting
:PORT:PPP:NEGotion:ENABLE	:PORT:PPP:NEGotion:ENABLE?	PORTPPNEGotionENABLE	M_PortSetting
:PORT:PPP:NEGotion:MRU:TX	:PORT:PPP:NEGotion:MRU:TX?	PORTPPNEGotionMRUTX	M_PortSetting
:PORT:PPP:NEGotion:RETRY:COUNT	:PORT:PPP:NEGotion:RETRY:COUNT?	PORTPPNEGotionRETRYCOUNT	M_PortSetting
:PORT:PPP:NEGotion:RETRY:TIMEout	:PORT:PPP:NEGotion:RETRY:TIMEout?	PORTPPNEGotionRETRYTIMEout	M_PortSetting
-	:PORT:PPP:NEGotion:MNUMber:RX?	PORTPPNEGotionMNUMBERRX	M_PortSetting
-	:PORT:PPP:NEGotion:MNUMber:TX?	PORTPPNEGotionMNUMBERTX	M_PortSetting
-	:PORT:PPP:NEGotion:MRU:RX?	PORTPPNEGotionMPURX	M_PortSetting
:PORT:BULK:DfIeld:PATtern	:PORT:BULK:DfIeld:PATtern?	PORTBULKDFIeldPATtern	M_PortSetting
:PORT:BULK:DfIeld:TYPE	:PORT:BULK:DfIeld:TYPE?	PORTBULKDFIeldTYPE	M_PortSetting
:PORT:ETHernet:ARP:REPLY:MODE	:PORT:ETHernet:ARP:REPLY:MODE?	PORTETHernetARPREPLYMODE	M_PortSetting
-	:PORT:ETHernet:DMODE?	PORTETHernetDMODE	M_PortSetting
-	:PORT:ETHernet:LSPeed?	PORTETHernetLSPeed	M_PortSetting
:PORT:ETHernet:MADdress	:PORT:ETHernet:MADdress?	PORTETHernetMADdress	M_PortSetting
:PORT:ETHernet:MII:ANEGotion:DMODE	:PORT:ETHernet:MII:ANEGotion:DMODE?	PORTETHernetMIIANEGotionDMODE	M_PortSetting
:PORT:ETHernet:MII:ANEGotion:ENABLE	:PORT:ETHernet:MII:ANEGotion:ENABLE?	PORTETHernetMIIANEGotionENABLE	M_PortSetting
:PORT:ETHernet:MII:ANEGotion:LSPeed	:PORT:ETHernet:MII:ANEGotion:LSPeed?	PORTETHernetMIIANEGotionLSPeed	M_PortSetting
:PORT:ETHernet:MII:ANEGotion:ADVertise:100Full	:PORT:ETHernet:MII:ANEGotion:ADVertise:100Full?	PORTETHernetMIIANEGotionADVertise100Full	M_PortSetting
:PORT:ETHernet:MII:ANEGotion:ADVertise:100Half	:PORT:ETHernet:MII:ANEGotion:ADVertise:100Half?	PORTETHernetMIIANEGotionADVertise100Half	M_PortSetting
:PORT:ETHernet:MII:ANEGotion:ADVertise:10Full	:PORT:ETHernet:MII:ANEGotion:ADVertise:10Full?	PORTETHernetMIIANEGotionADVertise10Full	M_PortSetting
:PORT:ETHernet:MII:ANEGotion:ADVertise:10Half	:PORT:ETHernet:MII:ANEGotion:ADVertise:10Half?	PORTETHernetMIIANEGotionADVertise10Half	M_PortSetting
:PORT:ETHernet:MII:FCONtrol:DPCONtrol:ADDress	:PORT:ETHernet:MII:FCONtrol:DPCONtrol:ADDress?	PORTETHernetMIIFCONtrolDPCONtrolADDress	M_PortSetting
:PORT:ETHernet:MII:FCONtrol:MPCONtrol:ENABLE	:PORT:ETHernet:MII:FCONtrol:MPCONtrol:ENABLE?	PORTETHernetMIIFCONtrolMPCONtrolENABLE	M_PortSetting
:PORT:ETHernet:MII:LBACk:ENABLE	:PORT:ETHernet:MII:LBACk:ENABLE?	PORTETHernetMIILBACkENABLE	M_PortSetting
:PORT:ETHernet:MII:VALue	:PORT:ETHernet:MII:VALue?	PORTETHernetMIIVALue	M_PortSetting
:PORT:PPP:IPCP:ENABLE	:PORT:PPP:IPCP:ENABLE?	PORTPPPIPCPENABLE	M_PortSetting
:PORT:ETHernet:MII:FCONtrol:DPCONtrol:ENABLE	:PORT:ETHernet:MII:FCONtrol:DPCONtrol:ENABLE?	PORTETHernetMIIFCONtrolDPCONtrolENABLE	M_PortSetting
:PORT:ETHernet:MII:FCONtrol:DPCONtrol:TYPE	:PORT:ETHernet:MII:FCONtrol:DPCONtrol:TYPE?	PORTETHernetMIIFCONtrolDPCONtrolTYPE	M_PortSetting
-	:PORT:OPTical?	PORTOPTical	M_PortSetting
:PORT:PPP:NEGotion:ABORT	-	PORTPPNEGotionABORT	M_PortSetting
:TSTReam:START	-	TSTReamSTART	M_TxStream
:TSTReam:STOP	-	TSTReamSTOP	M_TxStream
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:DfIeld1:ENABLE	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:DfIeld1:ENABLE?	TSTReamTABLEITEMFRAMEdFfIeld1ENABLE	M_TxSIFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:DfIeld1:LENgth	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:DfIeld1:LENgth?	TSTReamTABLEITEMFRAMEdFfIeld1LENgth	M_TxSIFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:DfIeld1:OFFSet	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:DfIeld1:OFFSet?	TSTReamTABLEITEMFRAMEdFfIeld1OFFSet	M_TxSIFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:DfIeld1:PROGram:PATtern	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:DfIeld1:PROGram:PATtern?	TSTReamTABLEITEMFRAMEdFfIeld1PROGramPATtern	M_TxSIFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:DfIeld1:TYPE	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:DfIeld1:TYPE?	TSTReamTABLEITEMFRAMEdFfIeld1TYPE	M_TxSIFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:DfIeld2:ENABLE	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:DfIeld2:ENABLE?	TSTReamTABLEITEMFRAMEdFfIeld2ENABLE	M_TxSIFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:DfIeld2:LENgth	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:DfIeld2:LENgth?	TSTReamTABLEITEMFRAMEdFfIeld2LENgth	M_TxSIFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:DfIeld2:OFFSet	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:DfIeld2:OFFSet?	TSTReamTABLEITEMFRAMEdFfIeld2OFFSet	M_TxSIFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:DfIeld2:TYPE	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:DfIeld2:TYPE?	TSTReamTABLEITEMFRAMEdFfIeld2TYPE	M_TxSIFrameSetting

SCPI	SCPI リクエスト	トランスペアレント変数名	マクロ名
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:DfIeld3:ENABle	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:DfIeld3:ENABle?	TSTReamTABLEITEMFRAMEDFIeld3ENABle	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:DfIeld3:LENGth	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:DfIeld3:LENGth?	TSTReamTABLEITEMFRAMEDFIeld3LENGth	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:DfIeld3:OFFSet	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:DfIeld3:OFFSet?	TSTReamTABLEITEMFRAMEDFIeld3OFFSet	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:DfIeld3:TYPE	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:DfIeld3:TYPE?	TSTReamTABLEITEMFRAMEDFIeld3TYPE	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:DfIeld4:ENABle	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:DfIeld4:ENABle?	TSTReamTABLEITEMFRAMEDFIeld4ENABle	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:DfIeld4:LENGth	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:DfIeld4:LENGth?	TSTReamTABLEITEMFRAMEDFIeld4LENGth	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:DfIeld4:OFFSet	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:DfIeld4:OFFSet?	TSTReamTABLEITEMFRAMEDFIeld4OFFSet	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:DfIeld4:TYPE	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:DfIeld4:TYPE?	TSTReamTABLEITEMFRAMEDFIeld4TYPE	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:BDATa	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:BDATa?	TSTReamTABLEITEMFRAMEBDATa	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:CONTRol:BPSTream	:TSTReam:TABLE:ITEM:CONTRol:BPSTream?	TSTReamTABLEITEMCONTRolBPSTream	M_TxStControlSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:CONTRol:COUNt	:TSTReam:TABLE:ITEM:CONTRol:COUNt?	TSTReamTABLEITEMCONTRolCOUNt	M_TxStControlSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:CONTRol:DISTRibution	:TSTReam:TABLE:ITEM:CONTRol:DISTRibution?	TSTReamTABLEITEMCONTRolDISTRibution	M_TxStControlSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:CONTRol:FPBurst	:TSTReam:TABLE:ITEM:CONTRol:FPBurst?	TSTReamTABLEITEMCONTRolFPBurst	M_TxStControlSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:CONTRol:JTID	:TSTReam:TABLE:ITEM:CONTRol:JTID?	TSTReamTABLEITEMCONTRolJTID	M_TxStControlSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:CONTRol:GAP:IBG	:TSTReam:TABLE:ITEM:CONTRol:GAP:IBG?	TSTReamTABLEITEMCONTRolGAPIBG	M_TxStControlSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:CONTRol:GAP:ISG	:TSTReam:TABLE:ITEM:CONTRol:GAP:ISG?	TSTReamTABLEITEMCONTRolGAPISG	M_TxStControlSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:CONTRol:GAP:IFG:VALue	:TSTReam:TABLE:ITEM:CONTRol:GAP:IFG:VALue?	TSTReamTABLEITEMCONTRolGAPIFGVALue	M_TxStControlSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:CONTRol:GAP:IFG:MAXimum	:TSTReam:TABLE:ITEM:CONTRol:GAP:IFG:MAXimum?	TSTReamTABLEITEMCONTRolGAPIFGMAXimum	M_TxStControlSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:CONTRol:GAP:IFG:MINimum	:TSTReam:TABLE:ITEM:CONTRol:GAP:IFG:MINimum?	TSTReamTABLEITEMCONTRolGAPIFGMINimum	M_TxStControlSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:CONTRol:GAP:IFG:TYPE	:TSTReam:TABLE:ITEM:CONTRol:GAP:IFG:TYPE?	TSTReamTABLEITEMCONTRolGAPIFGTYPE	M_TxStControlSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:ERRor:IP:TYPE	:TSTReam:TABLE:ITEM:ERRor:IP:TYPE?	TSTReamTABLEITEMERRorIPTYPE	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:ERRor:TCP:TYPE	:TSTReam:TABLE:ITEM:ERRor:TCP:TYPE?	TSTReamTABLEITEMERRorTCPYPE	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FSIZe:VALue	:TSTReam:TABLE:ITEM:FSIZe:VALue?	TSTReamTABLEITEMFSIZeVALue	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FSIZe:MAXimum	:TSTReam:TABLE:ITEM:FSIZe:MAXimum?	TSTReamTABLEITEMFSIZeMAXimum	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FSIZe:MINimum	:TSTReam:TABLE:ITEM:FSIZe:MINimum?	TSTReamTABLEITEMFSIZeMINimum	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FSIZe:TYPE	:TSTReam:TABLE:ITEM:FSIZe:TYPE?	TSTReamTABLEITEMFSIZeTYPE	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:MPLS:ENABle	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:MPLS:ENABle?	TSTReamTABLEITEMFRAMEMPLSENABle	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:MPLS:TYPE	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:MPLS:TYPE?	TSTReamTABLEITEMFRAMEMPLSTYPE	M_TxStFrameSetting
-	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:MPLS:TABLE:NITems?	TSTReamTABLEITEMFRAMEMPLSTABLENITems	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:MPLS:TABLE:ITEM:EXP	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:MPLS:TABLE:ITEM:EXP?	TSTReamTABLEITEMFRAMEMPLSTABLEITEMEXP	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:MPLS:TABLE:ITEM:LABel	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:MPLS:TABLE:ITEM:LABel?	TSTReamTABLEITEMFRAMEMPLSTABLEITEMLABel	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:MPLS:TABLE:ITEM:TTL	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:MPLS:TABLE:ITEM:TTL?	TSTReamTABLEITEMFRAMEMPLSTABLEITEMTTL	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:MPLS:TABLE:ITEM:BOSTack	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:MPLS:TABLE:ITEM:BOSTack?	TSTReamTABLEITEMFRAMEMPLSTABLEITEMBOSTack	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:ARP:OPERation	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:ARP:OPERation?	TSTReamTABLEITEMPROTocolARPOPERation	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:ARP:SIADdress	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:ARP:SIADdress?	TSTReamTABLEITEMPROTocolARPSIADdress	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:ARP:SMADdress	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:ARP:SMADdress?	TSTReamTABLEITEMPROTocolARPSMADdress	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:ARP:TIADdress	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:ARP:TIADdress?	TSTReamTABLEITEMPROTocolARPTIADdress	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:ARP:TMADdress	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:ARP:TMADdress?	TSTReamTABLEITEMPROTocolARPTMADdress	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:DHCP:CHADdr	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:DHCP:CHADdr?	TSTReamTABLEITEMPROTocolDHCPCHADdr	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:DHCP:CIADdr	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:DHCP:CIADdr?	TSTReamTABLEITEMPROTocolDHCPCIADdr	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:DHCP:FILE	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:DHCP:FILE?	TSTReamTABLEITEMPROTocolDHCPFILE	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:DHCP:FLAGs	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:DHCP:FLAGs?	TSTReamTABLEITEMPROTocolDHCPFLAGs	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:DHCP:GIADdr	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:DHCP:GIADdr?	TSTReamTABLEITEMPROTocolDHCPGIADdr	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:DHCP:HLEN	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:DHCP:HLEN?	TSTReamTABLEITEMPROTocolDHCPHLEN	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:DHCP:HOPS	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:DHCP:HOPS?	TSTReamTABLEITEMPROTocolDHCPHOPS	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:DHCP:HTYPE	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:DHCP:HTYPE?	TSTReamTABLEITEMPROTocolDHCPHTYPE	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:DHCP:OP	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:DHCP:OP?	TSTReamTABLEITEMPROTocolDHCPOP	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:DHCP:SECS	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:DHCP:SECS?	TSTReamTABLEITEMPROTocolDHCPSECS	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:DHCP:SIADdr	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:DHCP:SIADdr?	TSTReamTABLEITEMPROTocolDHCPSIADdr	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:DHCP:SNAME	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:DHCP:SNAME?	TSTReamTABLEITEMPROTocolDHCPSSNAME	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:DHCP:XID	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:DHCP:XID?	TSTReamTABLEITEMPROTocolDHCPXID	M_TxStFrameSetting

SCPI	SCPI リクエスト	トランスペアレント変数名	マクロ名
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:DHCP:YIADdr	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:DHCP:YIADdr?	TSTReamTABLEITEMPROTocolDHCPYIADdr	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:DHCP:OPtions	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:DHCP:OPtions?	TSTReamTABLEITEMPROTocolDHCPOPtions	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:ICMP:CODE	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:ICMP:CODE?	TSTReamTABLEITEMPROTocolICMPCODE	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:ICMP:ID	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:ICMP:ID?	TSTReamTABLEITEMPROTocolICMPID	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:ICMP:SNUMber	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:ICMP:SNUMber?	TSTReamTABLEITEMPROTocolICMPSNUMBER	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:ICMP:TYPE	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:ICMP:TYPE?	TSTReamTABLEITEMPROTocolICMPATYPE	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IGMP:GADDress	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IGMP:GADDress?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIGMPGADDRESS	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IGMP:MRTIME	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IGMP:MRTIME?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIGMPMRTIME	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IGMP:TYPE	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IGMP:TYPE?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIGMPATYPE	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:FOFFset	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:FOFFset?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPFOFFset	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:ID	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:ID?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPIID	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:PROTocol	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:PROTocol?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPPROTocol	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:TTLive	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:TTLive?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPTTLive	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:DA:MASK	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:DA:MASK?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPDAMASK	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:DA:TYPE	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:DA:TYPE?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPDATATYPE	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:DA:VALue	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:DA:VALue?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPDAVALue	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:FLAG:BIT0	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:FLAG:BIT0?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPFLAGBIT0	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:FLAG:BIT1	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:FLAG:BIT1?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPFLAGBIT1	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:FLAG:BIT2	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:FLAG:BIT2?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPFLAGBIT2	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:OPtions	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:OPtions?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPOPTIONS	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:SA:MASK	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:SA:MASK?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPSAMASK	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:SA:TYPE	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:SA:TYPE?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPSATYPE	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:SA:VALue	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:SA:VALue?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPSAVALue	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:TOS:DElay	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:TOS:DElay?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPTOSDElay	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:TOS:PREcedence	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:TOS:PREcedence?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPTOSPREcedence	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:TOS:REliability	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:TOS:REliability?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPTOSREliability	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:TOS:REServed	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:TOS:REServed?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPTOSREServed	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:TOS:THROUGHput	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:TOS:THROUGHput?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPTOSTHROUGHput	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IPV6:FLABel	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IPV6:FLABel?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPV6FLABel	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IPV6:HLIMit	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IPV6:HLIMit?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPV6HLIMit	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IPV6:NHEader	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IPV6:NHEader?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPV6NHEader	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IPV6:TCLass	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IPV6:TCLass?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPV6TCLass	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IPV6:DA:MASK	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IPV6:DA:MASK?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPV6DAMASK	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IPV6:DA:TYPE	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IPV6:DA:TYPE?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPV6DATATYPE	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IPV6:DA:VALue	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IPV6:DA:VALue?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPV6DAVALue	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IPV6:SA:MASK	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IPV6:SA:MASK?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPV6SAMASK	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IPV6:SA:TYPE	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IPV6:SA:TYPE?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPV6SATATYPE	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IPV6:SA:VALue	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IPV6:SA:VALue?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPV6SAVALue	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IPX:PTYPE	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IPX:PTYPE?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPXPTYPE	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IPX:TCONtrol	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IPX:TCONtrol?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPXTCONtrol	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IPX:DNENetwork	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IPX:DNENetwork?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPXDNENetwork	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IPX:DNODE	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IPX:DNODE?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPXDNODE	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IPX:DSOCKet	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IPX:DSOCKet?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPXDSOCKet	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IPX:SNENetwork	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IPX:SNENetwork?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPXSNENetwork	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IPX:SNODE	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IPX:SNODE?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPXSNODE	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IPX:SSOCKet	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IPX:SSOCKet?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPXSSOCKet	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:RIP:COMMANd	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:RIP:COMMANd?	TSTReamTABLEITEMPROTocolRIPCOMMANd	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:RIP:VERsion	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:RIP:VERsion?	TSTReamTABLEITEMPROTocolRIPVERsion	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:RIP:ENTRy:AFIDentifier	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:RIP:ENTRy:AFIDentifier?	TSTReamTABLEITEMPROTocolRIPENTRyAFIDentifier	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:RIP:ENTRy:AUTHenticat	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:RIP:ENTRy:AUTHenticat?	TSTReamTABLEITEMPROTocolRIPENTRyAUTHenticat	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:RIP:ENTRy:AUTHenticat:TYPE	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:RIP:ENTRy:AUTHenticat:TYPE?	TSTReamTABLEITEMPROTocolRIPENTRyAUTHenticatTYPE	M_TxStFrameSetting

SCPI	SCPI リクエスト	トランスペアレント変数名	マクロ名
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:RIP:ENTry:RIP1:IADdress	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:RIP:ENTry:RIP1:IADdress?	TSTReamTABLEITEMPROTocolRIPENTryRIP1IADdress	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:RIP:ENTry:RIP1:METRic	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:RIP:ENTry:RIP1:METRic?	TSTReamTABLEITEMPROTocolRIPENTryRIP1METRic	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:RIP:ENTry:RIP2:IADdress	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:RIP:ENTry:RIP2:IADdress?	TSTReamTABLEITEMPROTocolRIPENTryRIP2IADdress	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:RIP:ENTry:RIP2:METRic	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:RIP:ENTry:RIP2:METRic?	TSTReamTABLEITEMPROTocolRIPENTryRIP2METRic	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:RIP:ENTry:RIP2:NHOP	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:RIP:ENTry:RIP2:NHOP?	TSTReamTABLEITEMPROTocolRIPENTryRIP2NHOP	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:RIP:ENTry:RIP2:RTAG	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:RIP:ENTry:RIP2:RTAG?	TSTReamTABLEITEMPROTocolRIPENTryRIP2RTAG	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:RIP:ENTry:RIP2:SMASK	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:RIP:ENTry:RIP2:SMASK?	TSTReamTABLEITEMPROTocolRIPENTryRIP2SMASK	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:TCP:ANUMber	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:TCP:ANUMber?	TSTReamTABLEITEMPROTocolTCPANUMber	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:TCP:DPORt	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:TCP:DPORt?	TSTReamTABLEITEMPROTocolTCPDPORt	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:TCP:REServed	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:TCP:REServed?	TSTReamTABLEITEMPROTocolTCPREServed	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:TCP:SNUMber	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:TCP:SNUMber?	TSTReamTABLEITEMPROTocolTCPSTNUMber	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:TCP:SPORt	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:TCP:SPORt?	TSTReamTABLEITEMPROTocolTCPSPORt	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:TCP:UPORt	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:TCP:UPORt?	TSTReamTABLEITEMPROTocolTCPUPORt	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:TCP:WINDow	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:TCP:WINDow?	TSTReamTABLEITEMPROTocolTCPWINDow	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:TCP:CBITs:ACK	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:TCP:CBITs:ACK?	TSTReamTABLEITEMPROTocolTCPCBITsACK	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:TCP:CBITs:FIN	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:TCP:CBITs:FIN?	TSTReamTABLEITEMPROTocolTCPCBITsFIN	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:TCP:CBITs:PSH	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:TCP:CBITs:PSH?	TSTReamTABLEITEMPROTocolTCPCBITsPSH	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:TCP:CBITs:RST	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:TCP:CBITs:RST?	TSTReamTABLEITEMPROTocolTCPCBITsRST	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:TCP:CBITs:SYN	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:TCP:CBITs:SYN?	TSTReamTABLEITEMPROTocolTCPCBITsSYN	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:TCP:CBITs:URG	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:TCP:CBITs:URG?	TSTReamTABLEITEMPROTocolTCPCBITsURG	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:TCP:OPTions	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:TCP:OPTions?	TSTReamTABLEITEMPROTocolTCPOPTions	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:UDP:DPORt	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:UDP:DPORt?	TSTReamTABLEITEMPROTocolUDPDORt	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:UDP:SPORt	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:UDP:SPORt?	TSTReamTABLEITEMPROTocolUDPSPORt	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:PPP:ADDRes	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:PPP:ADDRes?	TSTReamTABLEITEMFRAMEPPPADDRes	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:PPP:CONTRol	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:PPP:CONTRol?	TSTReamTABLEITEMFRAMEPPPCONTRol	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:PPP:PROTocol	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:PPP:PROTocol?	TSTReamTABLEITEMFRAMEPPPPROTocol	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:ETHERnet:TYPE	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:ETHERnet:TYPE?	TSTReamTABLEITEMFRAMEETHERnetTYPE	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:ETHERnet:TYPE	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:ETHERnet:TYPE?	TSTReamTABLEITEMFRAMEETHERnetTYPE	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:ETHERnet:SFD	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:ETHERnet:SFD?	TSTReamTABLEITEMFRAMEETHERnetSFD	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:ETHERnet:DA:MASK	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:ETHERnet:DA:MASK?	TSTReamTABLEITEMFRAMEETHERnetDAMASK	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:ETHERnet:DA:TYPE	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:ETHERnet:DA:TYPE?	TSTReamTABLEITEMFRAMEETHERnetDATYPE	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:ETHERnet:DA:VALue	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:ETHERnet:DA:VALue?	TSTReamTABLEITEMFRAMEETHERnetDAVALue	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:ETHERnet:PREamble:PATtern	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:ETHERnet:PREamble:PATtern?	TSTReamTABLEITEMFRAMEETHERnetPREamblePATtern	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:ETHERnet:PREamble:SIZE	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:ETHERnet:PREamble:SIZE?	TSTReamTABLEITEMFRAMEETHERnetPREambleSIZE	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:ETHERnet:SA:MASK	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:ETHERnet:SA:MASK?	TSTReamTABLEITEMFRAMEETHERnetSAMASK	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:ETHERnet:SA:TYPE	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:ETHERnet:SA:TYPE?	TSTReamTABLEITEMFRAMEETHERnetSATYPE	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:ETHERnet:SA:VALue	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:ETHERnet:SA:VALue?	TSTReamTABLEITEMFRAMEETHERnetSAVALue	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:VLAN:CFI	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:VLAN:CFI?	TSTReamTABLEITEMFRAMEVLANCFI	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:VLAN:ENABle	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:VLAN:ENABle?	TSTReamTABLEITEMFRAMEVLANENABle	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:VLAN:UPRIority	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:VLAN:UPRIority?	TSTReamTABLEITEMFRAMEVLANUPRIority	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:VLAN:ID:MASK	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:VLAN:ID:MASK?	TSTReamTABLEITEMFRAMEVLANIDMASK	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:VLAN:ID:MODE	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:VLAN:ID:MODE?	TSTReamTABLEITEMFRAMEVLANIDMODE	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:VLAN:ID:VALue	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:VLAN:ID:VALue?	TSTReamTABLEITEMFRAMEVLANIDVALue	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:ERROR:PPP:TYPE	:TSTReam:TABLE:ITEM:ERROR:PPP:TYPE?	TSTReamTABLEITEMERRORPPPTYPE	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:TYPE	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:TYPE?	TSTReamTABLEITEMPROTocolTYPE	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:PPP:PROTocol:AUTO	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:PPP:PROTocol:AUTO?	TSTReamTABLEITEMFRAMEPPPPROTocolAUTO	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:ETHERnet:PROTocol:AUTO	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:ETHERnet:PROTocol:AUTO?	TSTReamTABLEITEMFRAMEETHERnetPROTocolAUTO	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:MCONTRol:QUANta	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:MCONTRol:QUANta?	TSTReamTABLEITEMPROTocolMCONTRolQUANta	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:DField1:SN:VALue	:TSTReam:TABLE:ITEM:FRAME:DField1:SN:VALue?	TSTReamTABLEITEMFRAMEDField1SNVALue	M_TxStFrameSetting
:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:PROTocol:AUTO	:TSTReam:TABLE:ITEM:PROTocol:IP:PROTocol:AUTO?	TSTReamTABLEITEMPROTocolIPPROTocolAUTO	M_TxStFrameSetting

SCPI	SCPI リクエスト	トランスペアレント変数名	マクロ名
:Filter:COMBination	:Filter:COMBination?	FilterCOMBination	M_CaptureFilterSetting or M_CaptureTriggerSetting
:Filter:PATtern1:MASK	:Filter:PATtern1:MASK?	FilterPATtern1MASK	M_CaptureFilterSetting or M_CaptureTriggerSetting
:Filter:PATtern1:OFFSet	:Filter:PATtern1:OFFSet?	FilterPATtern1OFFSet	M_CaptureFilterSetting or M_CaptureTriggerSetting
:Filter:PATtern1:VALue	:Filter:PATtern1:VALue?	FilterPATtern1VALue	M_CaptureFilterSetting or M_CaptureTriggerSetting
:Filter:PATtern2:MASK	:Filter:PATtern2:MASK?	FilterPATtern2MASK	M_CaptureFilterSetting or M_CaptureTriggerSetting
:Filter:PATtern2:OFFSet	:Filter:PATtern2:OFFSet?	FilterPATtern2OFFSet	M_CaptureFilterSetting or M_CaptureTriggerSetting
:Filter:PATtern2:VALue	:Filter:PATtern2:VALue?	FilterPATtern2VALue	M_CaptureFilterSetting or M_CaptureTriggerSetting
:Filter:ERRor:TYPE	:Filter:ERRor:TYPE?	FilterERRorTYPE	M_CaptureFilterSetting or M_CaptureTriggerSetting
:Filter:IP:DA:MASK	:Filter:IP:DA:MASK?	FilterIPDAMASK	M_CaptureFilterSetting or M_CaptureTriggerSetting
:Filter:IP:DA:VALue	:Filter:IP:DA:VALue?	FilterIPDAVALue	M_CaptureFilterSetting or M_CaptureTriggerSetting
:Filter:IP:SA:MASK	:Filter:IP:SA:MASK?	FilterIPSAMASK	M_CaptureFilterSetting or M_CaptureTriggerSetting
:Filter:IP:SA:VALue	:Filter:IP:SA:VALue?	FilterIPSAVALue	M_CaptureFilterSetting or M_CaptureTriggerSetting
:Filter:ETHernet:DA:MASK	:Filter:ETHernet:DA:MASK?	FilterETHernetDAMASK	M_CaptureFilterSetting or M_CaptureTriggerSetting
:Filter:ETHernet:DA:VALue	:Filter:ETHernet:DA:VALue?	FilterETHernetDAVALue	M_CaptureFilterSetting or M_CaptureTriggerSetting
:Filter:ETHernet:SA:MASK	:Filter:ETHernet:SA:MASK?	FilterETHernetSAMASK	M_CaptureFilterSetting or M_CaptureTriggerSetting
:Filter:ETHernet:SA:VALue	:Filter:ETHernet:SA:VALue?	FilterETHernetSAVALue	M_CaptureFilterSetting or M_CaptureTriggerSetting
:CAPTure:STARt	-	CAPTureSTARt	M_Capture
:CAPTure:STOP	-	CAPTureSTOP	M_Capture
:CAPTure:TrigGer	-	CAPTureTrigGer	M_Capture
-	:CAPTure:TIME:ELAPsed?	CAPTureTIMEELAPsed	M_Capture
-	:CAPTure:TIME:STARt?	CAPTureTIMESTARt	M_Capture
-	:CAPTure:STATe?	CAPTureSTATe	M_Capture
-	:CAPTure:TIME:STOP?	CAPTureTIMESTOP	M_Capture
-	:CAPTure:BUFFer:NFRames?	CAPTureBUFFerNFRames	M_Capture
-	:CAPTure:BUFFer:TrigGer?	CAPTureBUFFerTrigGer	M_Capture
-	:CAPTure:BUFFer:FRAMe:DATA?	CAPTureBUFFerFRAMeDATA	M_Capture
-	:CAPTure:BUFFer:FRAMe:LENGth?	CAPTureBUFFerFRAMeLENGth	M_Capture
-	:CAPTure:BUFFer:FRAMe:TIMestamp?	CAPTureBUFFerFRAMeTIMestamp	M_Capture
:CAPTure:Filter:DA	:CAPTure:Filter:DA?	CAPTureFilterDA	M_CaptureFilterSetting
:CAPTure:Filter:ENABle	:CAPTure:Filter:ENABle?	CAPTureFilterENABle	M_CaptureFilterSetting
:CAPTure:Filter:ERRor	:CAPTure:Filter:ERRor?	CAPTureFilterERRor	M_CaptureFilterSetting
:CAPTure:Filter:PATtern1	:CAPTure:Filter:PATtern1?	CAPTureFilterPATtern1	M_CaptureFilterSetting
:CAPTure:Filter:PATtern2	:CAPTure:Filter:PATtern2?	CAPTureFilterPATtern2	M_CaptureFilterSetting
:CAPTure:Filter:SA	:CAPTure:Filter:SA?	CAPTureFilterSA	M_CaptureFilterSetting

SCPI	SCPI リクエスト	トランスペアレント変数名	マクロ名
:CAPTure:Trigger:DA	:CAPTure:Trigger:DA?	CAPTureTriggerDA	M_CaptureTriggerSetting
:CAPTure:Trigger:ENABle	:CAPTure:Trigger:ENABle?	CAPTureTriggerENABle	M_CaptureTriggerSetting
:CAPTure:Trigger:ERRor	:CAPTure:Trigger:ERRor?	CAPTureTriggerERRor	M_CaptureTriggerSetting
:CAPTure:Trigger:PATTem1	:CAPTure:Trigger:PATTem1?	CAPTureTriggerPATTem1	M_CaptureTriggerSetting
:CAPTure:Trigger:PATTem2	:CAPTure:Trigger:PATTem2?	CAPTureTriggerPATTem2	M_CaptureTriggerSetting
:CAPTure:Trigger:POSition	:CAPTure:Trigger:POSition?	CAPTureTriggerPOSition	M_CaptureTriggerSetting
:CAPTure:Trigger:SA	:CAPTure:Trigger:SA?	CAPTureTriggerSA	M_CaptureTriggerSetting
:CAPTure:Trigger:EXTernal:ENABle	:CAPTure:Trigger:EXTernal:ENABle?	CAPTureTriggerEXTernalENABle	M_CaptureTriggerSetting
:CAPTure:Trigger:LATency:ENABle	:CAPTure:Trigger:LATency:ENABle?	CAPTureTriggerLATencyENABle	M_CaptureTriggerSetting
:CAPTure:Trigger:LATency:THReshold	:CAPTure:Trigger:LATency:THReshold?	CAPTureTriggerLATencyTHReshold	M_CaptureTriggerSetting
:CAPTure:Trigger:TRAFfic:ENABle	:CAPTure:Trigger:TRAFfic:ENABle?	CAPTureTriggerTRAFficENABle	M_CaptureTriggerSetting
:CAPTure:Trigger:TRAFfic:THReshold	:CAPTure:Trigger:TRAFfic:THReshold?	CAPTureTriggerTRAFficTHReshold	M_CaptureTriggerSetting

